

～～第8667回～～

乳岩峡～明神山

～H31.4.21～

昨年度島田支部行事で唯一中止になった山行。今日は晴天で暖かく絶好の登山日和になった。車2台9名で6:00出発。新東名から三遠南信道鳳来峡ICで下りる。R151から直ぐ旧道に入り「乳岩峡」の標識を左折し、直進の突き当りの乳岩峡駐車場に7:30着く。既に20台程でいっぱい。乳岩峡は国の名勝天然記念物に指定されており、ここだけで来る人と、鬼岩でロッククライミングを楽しむ人達も駐車する。きれいなトイレを使用し、ストレッチをして7:50出発する。滑床の栈敷岩の乳岩川沿いを歩き山道に入る。20分程で乳岩と明神山への分岐に出る。此処を左折し乳岩峡周回コースを歩く。凝灰岩の石灰分が溶け出してつくられた巨大な奇岩の間を鉄階段で巡る。乳房状の鍾乳石から乳岩の名が付けられた。9:00分岐に戻り明神山へ向かう。此処から高度差750m、道は木の根が露出し歩きづらい。常緑の雑木林が茂り下地はシダが密生している。一服の岩で休憩、ここから暫く緩やかな道になる。乳岩川を渡渉してから、川の中や山中に巨岩が多くみられる様になる。突然目の前に大岩にぶら下がっている人が現れた。その先の高さ数十メートルの鬼岩にもオーバーハングに取りついているロッククライミング中の人がおり、周辺にも多数の人が楽しんでた。そこからジグザグに登り10:30鬼岩乗越に着く。尾根には出たが霞んで展望は無い。10:50胸突八丁の急坂に取り付く、木の根を掴んだり岩を跨いだりして30分で八丁の頭にたどり着く。少し傾斜が緩くなり11:40三ツ瀬ルートとの分岐に出る。「6合目・頂上まで1km」の標識が有り行動食を補給して一息入れる。此処から少し下り再び緩く登ると最初の岩場だ。クサリ場だが左側面からよじ登ることもできる。次の岩場はクサリが2段になっていて高度もある。岩場が続く尾根は両側が切れ落ちて気が抜けない。4m位の鉄梯子を登ると馬ノ背岩の上に出る。今まで鬱蒼とした雑木林を歩いて来たので、一気に開放された気分になる。展望は良いが幅1m長さ10m位の文字通り馬の背で両側は絶壁だ。最後の岩を超えると山頂(1016m)に12:45着く。山頂には簡易トイレと2階建ての鉄製展望台が有り、東側は南アルプスから富士山まで見渡せる絵看板があったが、今日は残念ながら春霞で展望は無い。5～6組のパーティが昼食中で私達も遅ればせながら弁当を広げた。明神様の石碑に安全登山を祈り13:35下山する。登り以上に慎重に下り16:50無事に登山口駐車場に戻った。今日はキバナシャクナゲ・ミヤマツツジ・アカヤシオ・アセビなどの花が展望のない樹林の中で疲れを癒してくれた。乳岩峡の景観を楽しみ、低山ではあるが山登りの要素がたくさん詰まった明神山を堪能した一日でした。

参加者：9名（藤枝1、島田8）

天気：晴れ

地図：三河本郷・熊

コースタイム：乳岩峡駐車場 730-50…乳岩分岐 808…乳岩峡 813-50…乳岩分岐 900…一

服の岩 925…鬼岩 1014…鬼岩乗越 1030…胸突八丁 1050…三ッ瀬分岐 1140…明神山山頂
1245-1335…三ッ瀬分岐 1430…鬼岩乗越 1523…駐車場 1650

記録：島田支部 T.S



乳岩峽の核心乳岩



胸突八丁、木の根を掴んで登る



クサリ場で苦戦



←展望の良い馬ノ背岩

↓ 山頂に建つ頂上展望台

